

道標

6月に内閣府より「少子化社会対策白書」が発表になりました。若い世代の恋愛・結婚観が浮き彫りになり、ネガティブさに世間はビックリ！ ニュースになりました。

白書の調査対象は全国の20〜39歳の男女7千人で2643人から回答を得ました。未婚で恋人いない人(28・8%)のうち、37・6

恋愛と結婚

つだ ゆみ

漫画家



%が「恋人欲しくない」のだそうです。欲しくない理由として、46

・2%が「恋愛が面倒だ」を挙げています。これはまずいですよ。

このままだと、日本はますます少子化。人口は先細りです。

結局「面倒くさいことは、したくない」と思っているのでしょうか？

人生なんて面倒くさいことの連続。そこを楽しまないと、生きる

ことがストレスになります。大丈夫か？ 若者たち。せっかく生まれ

れたんだから、恋愛しようよ！

政府は2013、14年度の補正予算で「地域における少子化対策

の強化」として約60億円をつぎこんでいます。でも「恋人いない4割」じゃ、なかなか効果は表れ

てないということでしょうか？

話がそれますが、国立競技場の総工費2520億円に比べれば、ささやかな予算ですね。

白書が出たのとちょうど同じタイミングで、私は恋愛、結婚を応援

するコミックエッセー「ハッピーマジック」という本を出させて

いただきました。だから余計にこの発表にがくぜんとした次第です。

「ハッピーマジック」はブライダルの第一人者、桂由美さんに監修をしていただきました。桂さん

の分身、愛の妖精Youme(ユームー)が、みんなの恋愛を応援

するというストーリーです。「幸せな結婚がしたいあなたへ25のアドバイス」と副題を入れました。

ふるさと伝言

60億円に比べたら、この本がどれだけ「少子化対策」にお役に立

てるか分かりませんが、読者が一人でも「結婚したいな」と思ってくれるとうれしいです。

「恋人の聖地プロジェクト」という事業があります。NPO法人

地域活性化支援センターが「少子化対策と地域の活性化」をテーマ

に展開しているプロジェクトです。全国の観光地の中から、プロ

ポーズにふさわしいロマンチックなスポットを「恋人の聖地」と

して選定し、地域の魅力づくりと情報発信をしようというもので

す。先の桂由美さんが「聖地」の選定委員をされています。

日なのだそうです。知らなかったなあ。「ハッピーマジック」の中で、うまくいかなかった恋人同士が、プロポーズの日に恋人の聖地で再会するというお話をつくりました。

恋人の聖地は愛媛にもありますよ。夜景のきれいな具定展望台

(四国中央市)、ふたみシーサイド公園・恋人岬(伊予市)、松

山自動車道伊予灘サービスエリア(同市)。ミュージカル「誓いの

コイン」の舞台になった松山城二之丸史跡庭園(松山市)など。

次の休みにパートナーと訪れてみてはいかがですか？ きつとロ

マンチックモードに浸れますよ♪ (西条市生まれ)